

Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

用途

各種木材の切断

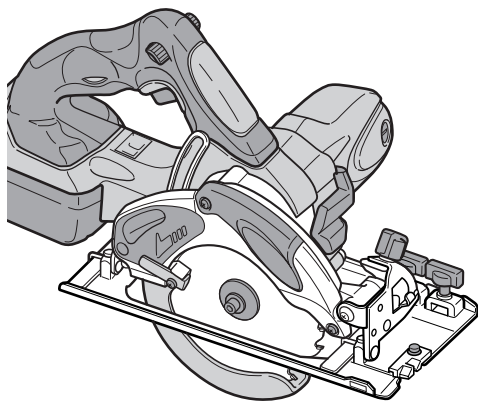
●野地板、野縁、たる木等の端切り

●コンパネおよび建材類の切断

●2"×4" 部材の切断

ブレーキ付 日立コードレス丸のこ 125mm C 14DSL

このたびはブレーキ付日立コードレス丸のこをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
標準付属品	10
仕様	11
別売部品	12

はじめに

ご使用前の準備	12
ご使用前の点検	13
各種調整方法について	15
各種操作方法について	17

準備

充電する	19
直角に切断する	21
傾斜切断する	23
際切りする	25
のこ刃の取りはずし・取付け	27

使い方

保守・点検	29
ご修理のときは	裏表紙

その他

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)リチウムイオン電池をお使いいただくうえで特別な注意が必要です。詳しくはP7を参照してください。

HITACHI

⚠ 警告、**⚠ 注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

- ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。
- ② 正しく充電してください。**
 - この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。また、昇圧器などのトランス類も使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - 温度が 0 °C 未満、または温度が 40 °C を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
 - 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などで覆わないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。
- ③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。**
 - 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ 感電に注意してください。**
 - ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⚠ 警告

- ⑤ **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 本体、充電器、蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑥ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものと粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ **次の場合は、本体のスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
 - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火中に投入しないでください。**
 - 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、本体や充電器のコードに触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。

⚠ 注意

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 本体や蓄電池を、温度が 50℃以上になる可能性がある場所（金属の箱や夏の中車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上の使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合った本体を使用してください。

- 小形の本体やアタッチメントは、大形の本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 充電器に継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

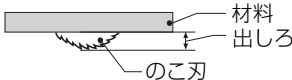
⚠ 注意

- ⑩ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしであることを確認してください。
付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ **屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。**
- ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。
- ⑫ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- ・コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。
軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - ・常識を働かせてください。
非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
事故やけがの原因になります。
- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作のできない本体は、使用しないでください。
異常動作して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- ・サービスマン以外の方は、本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。
発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
 - ・本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

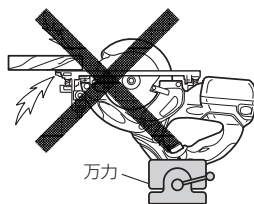
先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス丸のことして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - のこ刃が露出していると、けがの原因になります。
- ② のこ刃は、銘板に表示してある範囲内ののこ刃を使用してください。また、歯底径が100mm以下ののこ刃は使用しないでください。
 - 保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。
- ③ 切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。
 - 台が不安定であると、けがの原因になります。
- ④ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
- ⑤ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
また、切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。
 - このような台がないと、けがの原因になります。
- ⑥ 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
- ⑦ 使用中は、のこ刃や回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑧ 切断途中で、のこ刃を回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
 - 回転させたまま本体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑨ 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑩ 誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑪ ライトは切断作業時だけ点灯してください。
 - 切断作業以外に点灯すると、不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。

⚠ 注意

- ① 刃物類（のこ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - のこ刃が破損し、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、本体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - 異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。
- ⑤ ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
 - 本体を落としたりし、けがの原因になります。
- ⑥ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑦ 材料に釘などの異物がついてないことを確認してください。
 - 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑧ 切断しようとする材料の上に手を置いたまま作業しないでください。
 - 手を切る恐れがあります。
- ⑨ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - 不意の接触などで、けがの原因になります。
- ⑩ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
 - 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑪ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑫ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑬ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑭ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。



リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついて
います。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②の場合、モーターが停
止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

①電池残量が少なくなると(電池電圧8Vまで低下)モーターが停止します。

このときは速やかに充電してください。

②本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは
いったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
再びご使用になれます。

さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず
守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずや埃がたまらないようにしてください。
 - ・作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - ・作業中に工具本体にたまった切りくず、埃が蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - ・蓄電池を使用しないとき切りくず、埃が降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - ・保管時、蓄電池は切りくず、埃を落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

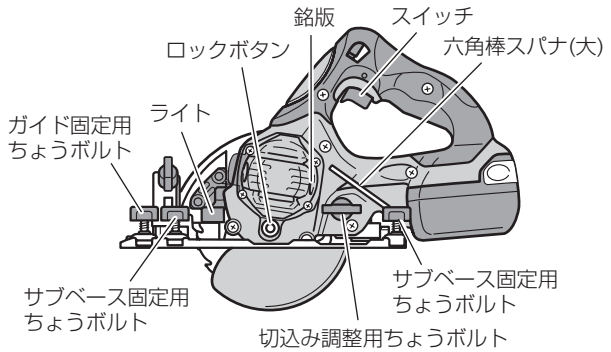
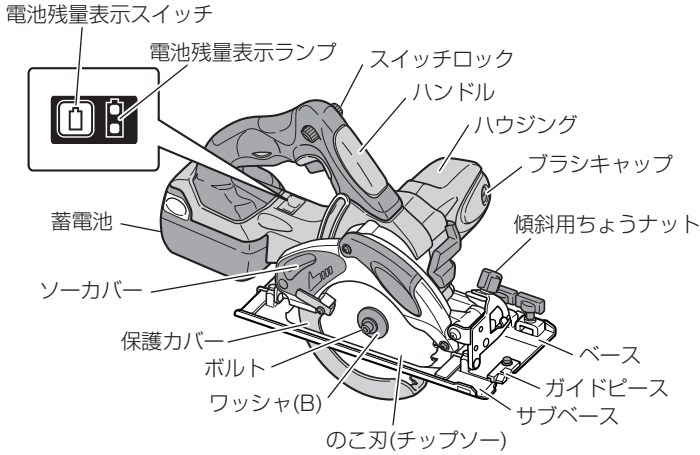
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

⚠ 注意

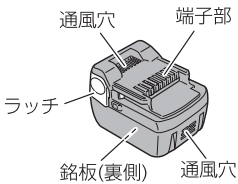
- ① 電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、サビや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

各部の名称

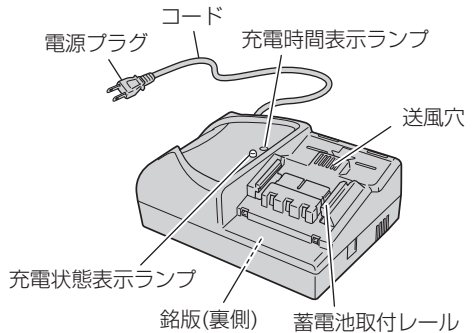
本体



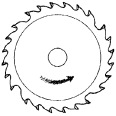



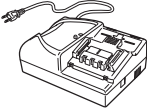

蓄電池



充電器



標準付属品

品名・形名	本体	コードレス丸のこ C 14DSL	
	仕様	SLCK	NN
① チップソー 		1 枚 (本体装着)	1 枚 (本体装着)
② 六角棒スパナ(大) 4 mm 		1 本 (本体装着)	1 本 (本体装着)
③ 六角棒スパナ(小) 2.5 mm 		1 本	1 本
④ 蓄電池 BSL 1430 		1 個 (本体装着)	—
⑤ 充電機 UC 18YSL2 		1 台	—
⑥ 収納ケース 		1 個	—

仕 様

1. 本体仕様

形 名	C 14DSL
モ ー タ ー	直 流モーター
最大切込み深さ	46 mm (90°) / 30 mm (45°) / 18 mm (逆15°)
のこ刃寸法	外径 125 mm × 穴径 20 mm
無 負 荷 回 転 数	3,600 min ⁻¹ {3,600回/分}
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池
電 池 電 圧	14.4 V
本 体 寸 法 全長×全高×全幅	346 × 245 × 200 (BSL 1430装着時)
質 量	2.8 kg (BSL 1430装着時)
L E D ラ イ ト	白色LED
残量表示ランプ	赤色LED

2. 充電器仕様

形 名	UC 18YSL2
入 力 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
充 電 時 間 (気温 20℃時)	BSL 1430 / BSL 1415 / BSL 1830 約 22 分
充 電 電 圧	14.4 V — 18 V
充 電 電 流	BSL 1430 / BSL 1830 : 7.5 A BSL 1415 : 3.5 A
コ ー ド	2心ビニールコード
質 量	0.7 kg
使用温度範囲	0℃ ~ 40℃
冷 却	対応 (ファン付き)
ブ ザ ー 音	あり

3. 蓄電池仕様

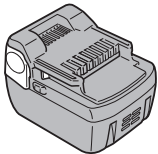
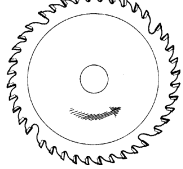
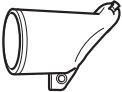

形 名	BSL 1430
容 量	3.0 Ah {3000 mAh}
冷 却	対応

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

⚠ 警告

別売部品を使用の際も保護メガネを使用してください。

詳しくは、お買い求めの販売店または日立工機の全国営業拠点(裏表紙参照)にお問い合わせ下さい。

<p>14.4 V 蓄電池 BSL 1430</p> <p>標準付属品と同形です。 (NN仕様を除く) 予備電池として ご利用ください。</p> 	<p>各種のこ刃</p> 
<p>ダクトアダプタ</p> <p>切粉排出口に取付けて、 集じん機に接続します。 (P18 参照)</p> 	<p>ガイド</p> <p>ガイドバー 1本の丸のこ用ガイドです。 (P18 参照)</p> 

はじめに

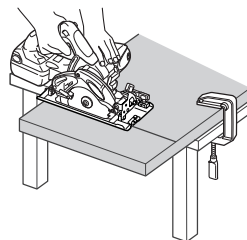
ご使用前の準備

準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●作業台(木製)を用意します

- のこ刃が材料の下面より出ますので、作業台の上に置いて材料を切断します。
- 材料の切り残り側を、しっかり押さえてください。
- バイスで固定するなどしてしっかり押さえれば、両手で作業することができます。



○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前の点検

警告

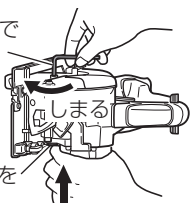
使用前に次のことを確認してください。手順 ① ~ ③ については、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いた状態で確認してください。

注 ①ロックボタンが元の位置に戻らない場合、③保護カバーが円滑に動かない場合、⑥ブレーキが正常に作動しない場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

1 のこ刃の締付けを確認する

●ロックボタンを押し込みながら、付属の六角棒スパナ(大)でボルトを時計方向に回すと、のこ刃の回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けます。

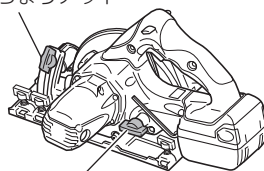
②六角棒スパナでボルトを回す



①ロックボタンを押し込む

2 切込み調整用ちょうボルト、傾斜用ちょうナットの締付けを確認する

傾斜用ちょうナット

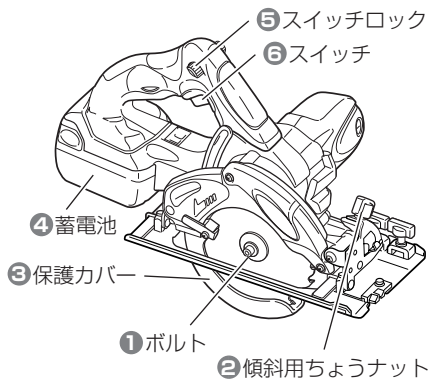


切込み調整用ちょうボルト

注 のこ刃を締付けた後、ロックボタンが元の位置に戻っていることを確認してください。

3 保護カバーの動きを確認する

●保護カバーは、身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。
●必ずのこ刃をおおうように円滑に動くことを確認してください。



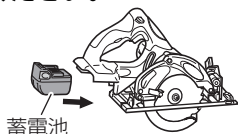
⚠ 警告

- のこ刃の締付けボルト、切込み調整用ちょうボルト、サブベース固定用ちょうボルト、傾斜用ちょうナットが十分に締まっていることを確認してください。ゆるんでいると、けがの原因になります。
- 保護カバーは、絶対に固定しないでください。のこ刃が露出していると、けがの原因になります。

4

蓄電池を取付ける

- 右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



⚠ 注意

蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

5

ライトの点灯を確かめる

- スイッチロックを押すと点灯し、はなすと消灯します。
- ライトは刃先部を照射します。

注 ライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。ライトのレンズ部に傷が付くと、明るさが低下する原因になります。

6

ブレーキがかかることを確かめる

- この本体はスイッチを切ると同時に、のこ刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。
- ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。

⚠ 注意

ブレーキが働くときの反発力に注意してください。本体を落としたりし、けがの原因になります。

- 注**
- 切断トイシは使用できません。
 - 木材以外を切断すると、ベース面に傷が付きやすくなります。

各種調整方法について

⚠ 警告

調整の際は万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いた状態で確認してください。

● 平行度の微調整

ベース側面とのか刃の平行度を平行度調整ねじで微調整できます。
工場出荷の際に調整してありますが、万一、平行度が狂っていた場合は次のように調整してください。

注 平行度調整後、切込み深さの調整を行なうと、平行度が若干狂う場合があります。切込み深さを調整後、平行度の調整を行ってください。(P21 ① 参照)

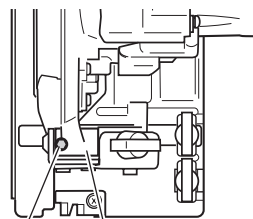
1 ギヤカバーヒンジ部の固定ねじを付属の六角棒スパナ(小)でゆるめます。

2 保護カバーをソーカバーの中に引き込みます。

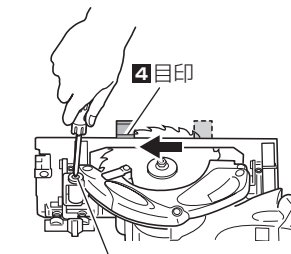
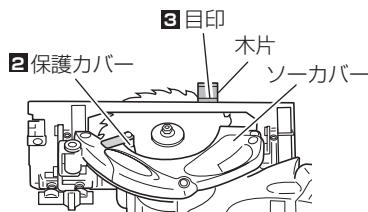
3 のこ刃のベース後方側に木片を当て、ベース側面位置に目印を付けます。

4 目印を付けた木片をベース前方側に移動し、平行度調整ねじを⊕ドライバーで回して目印がベース側面に合うようにします。

5 調整後、固定ねじをしっかりと締付けます。



①⑤ 固定ねじ
ギヤカバーヒンジ部



④ 平行度調整ねじ

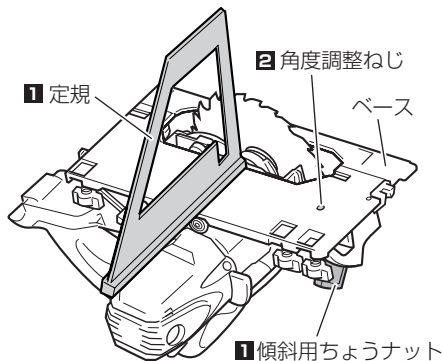
●直角度の微調整

直角度（ベースとのかご刃の角度）を微調整できます。

工場出荷の際に調整してありますが、万一、角度が狂っていた場合は次のように調整してください。

1 傾斜用ちょうナットをゆるめ、ベース底面とのかご刃に定規を当てて直角度を出し、傾斜用ちょうナットを軽く締めます。

2 角度調整ねじの先端がベースの金属製部品に当たるまで、お手持ちの六角棒スパナ（3mm）で角度調整ねじを回し、傾斜用ちょうナットをしっかりと締付けます。

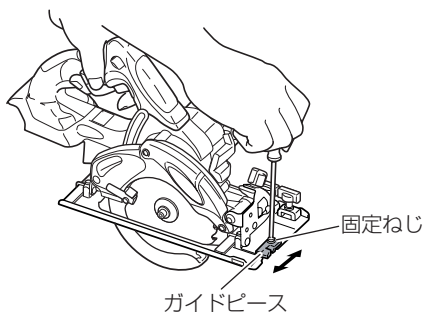
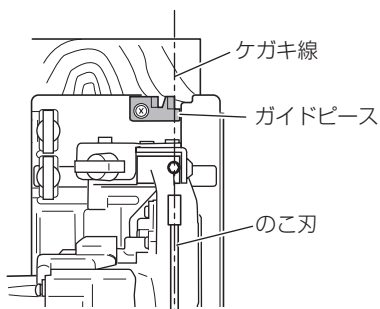


●ガイドピースの微調整

ガイドピースの取付け位置を微調整できます。

工場出荷の際には、ガイドピース切欠部の直線部分をのかご刃の刃部側面に合わせてありますが、万一、取付け位置が狂っていた場合は、ガイドピースの固定ねじをゆるめ、位置を調整してください。

⊕ドライバーで固定ねじをゆるめ、ガイドピースを左右に動かし位置を調整してください。



各種操作方法について

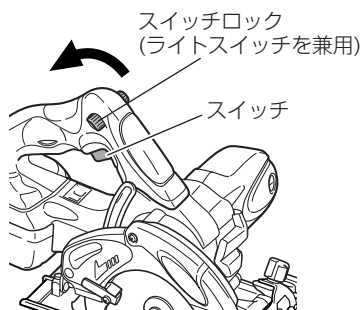
●スイッチの操作について

1 本機は安全に操作していただくため、ハンドル側面に「スイッチロック」が付いております。「スイッチロック」を矢印側に引いた状態でスイッチを引くと本体スイッチが入ります。

また、「スイッチロック」はライトスイッチを兼用しており、「スイッチロック」を引くとライトが点灯し、刃先部を照らします。

2 本体スイッチが入った後は、スイッチロックから手をはなしても、スイッチを引いているかぎり、運転を続けます。ライトも点灯し続けます。

3 スwitchを離すと本体スイッチが切れます。同時に「スイッチロック」は自動的に戻り、ライトも消灯します。






●電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指を離すとランプは消灯します。

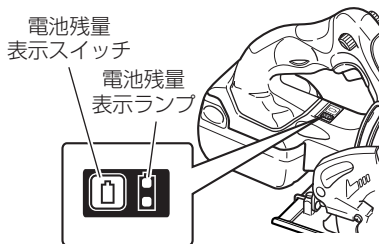
ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠ 注意

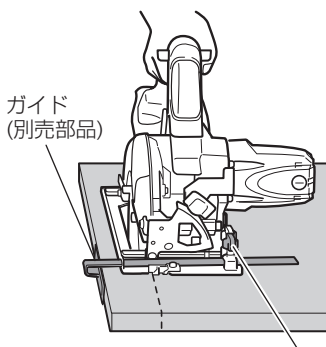
スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。



注 電池の消耗を少なくするため、電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。

●ガイド(別売部品)の使い方

ガイド固定用ちょうボルトをゆるめ、ガイドを左右に動かして切断位置を調整します。



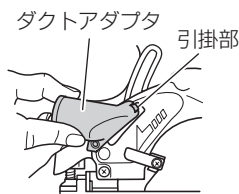
ガイド固定用ちょうボルト

●ダクトアダプタ(別売部品)の使い方

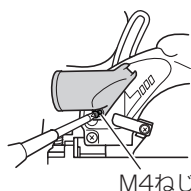
集じん機と接続する際、ダストカバーの切粉排出口にダクトアダプタを取付けて使用します。

集じん機に接続する際、集じん機側のホース内径がφ 25 mmのものが接続できます。その他のホースサイズの場合は、別売のホースアダプタが必要ですのでお買い求めの販売店もしくは日立工機電動工具センターにお問い合わせください。

- 1 ダクトアダプタの引掛部をダストカバーの切粉排出口前方に差込みます。



- 2 ダクトアダプタに付属のM4ねじでダクトアダプタを締め付け、ダストカバーに固定します。



準備

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

⚠ 警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

1 電源を確認する

- この充電器は交流100V用です。200V電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、焼損します。また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

2 コンセントを確認する

- コンセントががたついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

- 充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。(P20 充電ランプの表示について参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

本体から取りはずすとき



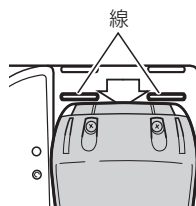
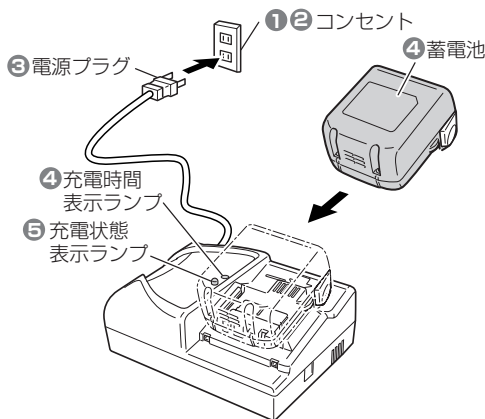
- 蓄電池を右図に示す線が見えるまでしっかりとさし込んでください。

- 充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤/橙/緑の

いずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

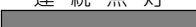
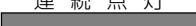
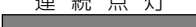

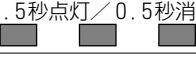




充電時間：約22分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついています。各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電時間 表示ランプ (赤/橙/緑)	充電時間 30分	赤点灯	連続点灯 	充電完了まで約 30分
	充電時間 20分	橙点灯	連続点灯 	充電完了まで約 20分
	充電時間 5分	緑点灯	連続点灯 	充電完了まで約 5分
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯 / 0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ (赤/橙/緑)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯 / 0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電完了	緑点灯	連続点灯 	
	充電不可	橙の速い点滅	0.1秒点灯 / 0.1秒消灯 	充電器または蓄電池に異常あり

- 注**
- 橙の速い点滅(0.1秒点灯/0.1秒消灯)を繰り返し、ブザーが「ピッピッピ」と約2秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取り除いてください。
異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
 - 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
 - 本体を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
 - 本体の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
 - 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がきたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のついた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

直角に切断する

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、① はスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いた状態で確認してください。
- 調整後、切込み調整用ちょうボルトは、ベースがしっかり固定されていることを確認してください。
ベースがしっかり固定されていないとけがの原因になります。

1 切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整する

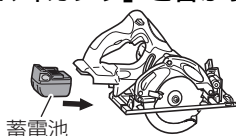
- 切込み調整用ちょうボルトをゆるめ、ベースを上下させて調整し、切込み調整用ちょうボルトを締付けてベースを固定します。



- 保護カバーにはこの刃外径 125mm 用の目盛がついています。目盛線は 3mm (1分) 刻みです。
- ベースとこの刃が直角の時は、この目盛を目安に切込み深さが調整出来ます。

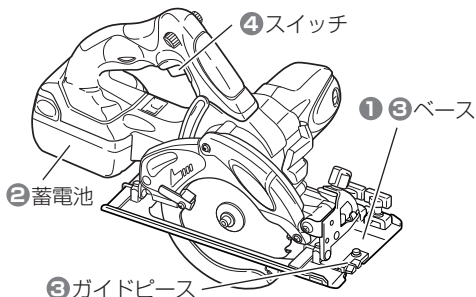
2 蓄電池を取付ける

- 右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



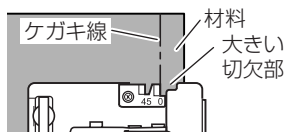
⚠ 注意

蓄電池は確実に取付けてください。確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。



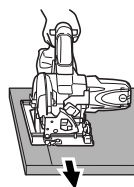
3 ケガキ線に合わせる

- 材料の上に本体（ベース）をのせ、ケガキ線にガイドピース切欠部を合わせます。大きい切欠部（0° 傾斜時使用）を目安にしてください。



4 スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

- この刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、そのまま本体をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにします。
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



⚠ 警告

- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
- スイッチロックを固定しないでください。また、運搬時にはスイッチから指をはなしてください。
不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- ライトは切断作業のときだけ点灯してください。
切断作業時以外に点灯すると、不用意にモーターが起動し思わぬ事故をおこすことがあります。
- 使用中に異常音や異常振動など本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。
反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、のこ刃の寿命を短くします。
- のこ刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。
けがの原因になります。

- 注**
- 切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。
 - ロックボタン(P9の図参照)は、のこ刃軸を固定するものです。
モーター運転中は絶対に押さないでください。
 - 予備の蓄電池を用意し、次々と蓄電池を交換しながら連続運転する場合は、モーターが過熱するので、ハウジングが熱くなったら本体をしばらく休ませてください。
 - 材料からベース底面が浮き上がった状態で切断しないでください。
モーターがロックする場合があります。
 - のこ刃のロック等により切断を途中で中断したときは、スイッチを切り必ず最初の切断位置まで本体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。
数秒間ロックを続けると、モーターの焼損や蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。

●切断能力（1回の充電による切断量）

本体の1充電辺りの切断量の目安を示します。
(切断量は、木材の状態、のこ刃の種類、周囲温度、蓄電池特性などにより多少異なります。)

材料(種類)	大きさ	切断本数
板(米松)	厚さ 38 mm×幅 300 mm	65 本
たる木(杉)	45 mm角材	280 本
コンパネ	厚さ 12 mm×幅 900 mm	45 本

切断作業上のご注意

1回の充電による切断量を増すためには

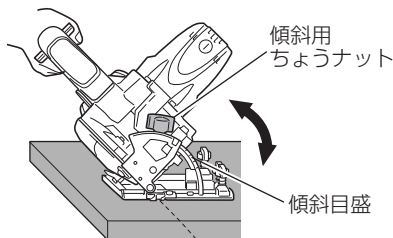
- 切断するとき以外の運転(無負荷運転)は少なくしてください。
- 切断中に本体をこじったり、強く押ししたりして、モーターに無理をかけないでください。
- 切れ味の悪いのこ刃は使用しないでください。

傾斜切断する（+45°方向）

1

傾斜角度を調整する

- 傾斜用ちょうナットをゆるめ、傾斜角度を調整します。のこ刃をベースに対して、最大 45°まで傾けることができます。

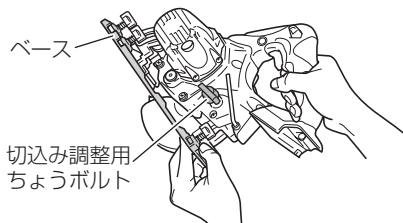


- 傾斜用ちょうナット締付け部に 5°刻みの傾斜目盛が付いています。正確な角度で切断したい場合はベースとのこ刃の角度を定規で測定してください。

2

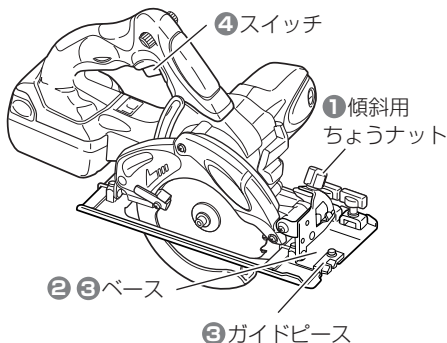
切断する材料の厚みに応じて切込み深さを調整する

- 切込み調整用ちょうボルトをゆるめ、ベースを上下させて調整し、切込み調整用ちょうボルトを締付けてベースを固定します。



警告

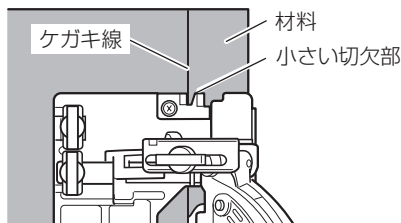
- 万一の事故を防止するため、①～②はスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いた状態で調整してください。
- 調整後、傾斜用ちょうナット、切込み調整用ちょうボルトを十分に締付けてください。ゆるんでいると、けがの原因になります。



3

ケガキ線に合わせる

- 45°傾斜するとき、材料の上に本体（ベース）をのせ、ケガキ線にガイドピースの小さい切欠部を目安に合わせます。



注 保護カバーに付いている目盛線は傾斜切断のときは使えません。切込み深さを調整するときは、のこ刃の切込み深さを実測してください。

⚠ 警告

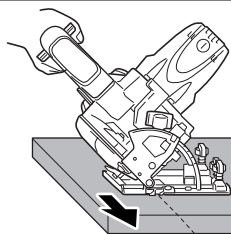
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
- スイッチロックを固定しないでください。また、運搬時にはスイッチから指をはなしてください。
不用意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- ライトは切断作業のときだけ点灯してください。
切断作業時以外に点灯すると、不用意にモーターが起動し思わぬ事故をおこすことがあります。
- 使用中に異常音や異常振動など本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。本体をまっすぐに静かに進めるようにしてください。
反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、のこ刃の寿命を短くします。
- のこ刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしないでください。
けがの原因になります。

- 注**
- 切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。
 - ロックボタン(P9の図参照)は、のこ刃軸を固定するものです。
モーター運転中は絶対に押さないでください。
 - 予備の蓄電池を用意し、次々と蓄電池を交換しながら連続運転する場合は、モーターが過熱するので、ハウジングが熱くなったら本体をしばらく休ませてください。
 - 材料からベース底面が浮き上がった状態で切断しないでください。
モーターがロックする場合があります。
 - のこ刃のロック等により切断を途中で中断したときは、スイッチを切り必ず最初の切断位置まで本体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。
数秒間ロックを続けると、モーターの焼損や蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。

4

スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

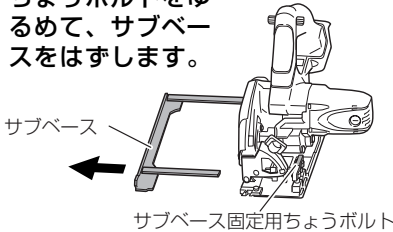
- のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、そのまま本体をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにします。
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



際切りする

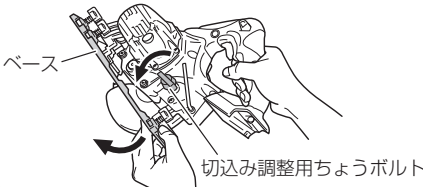
1 サブベースを取りはずす

- サブベース固定用ちょうボルトをゆるめて、サブベースをはずします。



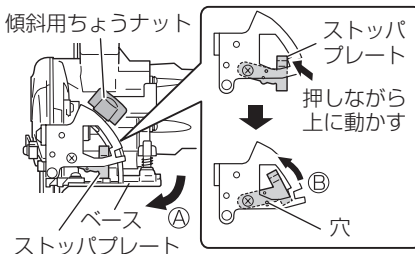
2 切込み量を調整する

- 切込み用ちょうボルトをゆるめ、この刃の切込み量を最小にします。



3 ストッププレート进行调整する

- 傾斜用ちょうナットをゆるめ、ベースを図の矢印(A)の方向に少し回転させた後、ストッププレートを押しながら、図の矢印(B)の方向に穴がはまり込む位置まで動かします。



⚠ 警告

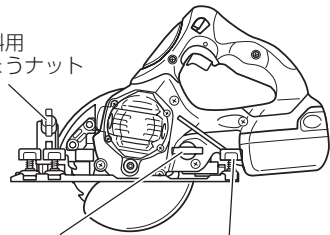
- 万一の事故を防止するため、①～⑤はスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いた状態で調整してください。
- 切込み始めに強い反発力が生じる場合があるので、機体をしっかり保持して作業してください。
- 機体の進行方向に対し、左側に身体が位置するような姿勢で作業してください。

機体の後ろに身体を位置すると、強い反発力が生じた場合、けがの原因になります。

- 際切りをするときも傾斜切断と同様の注意が必要です。

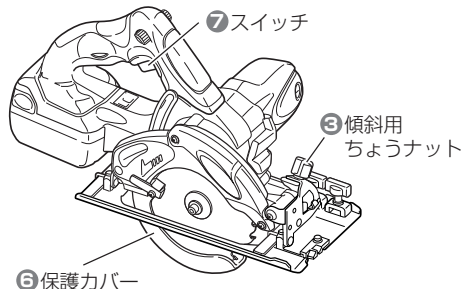
P23、24の ⚠警告、注をお読みください。

③④ 傾斜用ちょうナット



② 切込み調整用ちょうボルト

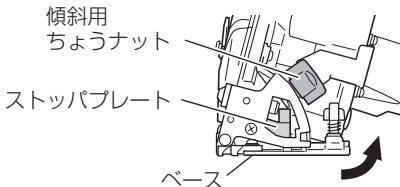
① サブベース固定用ちょうボルト



4

傾斜用ちょうナットを締付ける

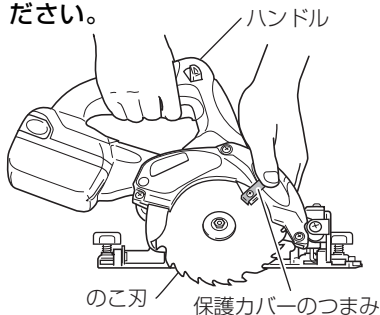
- ストッププレートがベースに突き当たるまでベースを図の矢印の方向に回転させ、ベース前後の傾斜用ちょうナットをしっかりと締付けます。



6

際切りの位置を合わせる

- 機体のハンドルを持ち、もう一方の手で保護カバーのつまみを引いて図のように保護カバーを上げた状態のまま、ベース右側面を壁に当てます。このとき、切込み深さ以上に保護カバーを上げないでください。



8

切断を終わる

- 切り終わったらスイッチを切にし、この刃の回転が完全に止まってから、機体を取り出してください。
- 再度同じ切込み深さで作業する場合は、⑥からの作業を繰り返してください。

5

切込み深さを調整する

- 際切りの切込み深さを 0 ~ 18 mm の間にこの刃出張り量を実測して調整してください。

注 この刃の出張り量が 18 mm を超えていると、この刃を固定しているボルトの頭が壁に接触します。接触すると壁に傷が付いたりしますので、この刃の出張り量は確実に 18 mm 以下に調整してください。

⚠ 警告

調整後、傾斜用ちょうナット、切込み調整用ちょうボルトを十分に締付けてください。
ゆるんでいると、けがの原因になります。

7

スイッチを入れ、ゆっくり前方に進める

- この刃が壁とフロアに接触していないことを確認してスイッチを入れてください。
- この刃の回転が完全に上昇して安定したら、壁を切込まないように注意しながら、機体をゆっくりと下げてフロアの隅を切込んでください。

注 ・サブベースをはずした逆傾斜の状態では、この刃の刃先がベースの右側面より出ているので、切込んでいくときに壁を切込まないように十分注意してください。
・切込みを入れる場所に釘などの異物がかくれている場合があるので、作業中に異常を感じたらすぐスイッチを切にし、作業を中止してください。

のこ刃の取りはずし・取付け

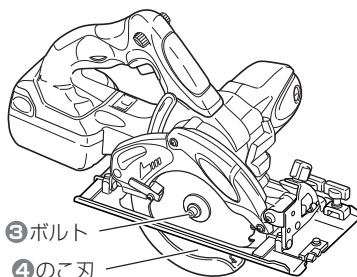
⚠ 警告

- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
思わぬ事故のもとになります。
- のこ刃の取りはずし・取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください

● のこ刃の取りはずし

1 切込み調整用ちょうボルトをゆるめ、切込み深さを最大にする

(P21 の①参照)



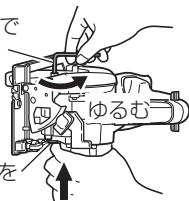
① ⑤ 切込み調整用ちょうボルト

2 のこ刃軸を固定する

- ロックボタンを押し込みながら、付属の六角棒スパナ(大)でボルトを反時計方向に回すと、のこ刃の回転が止まる位置があります。この状態でのこ刃軸が固定されます。

② 六角棒スパナでボルトを回す

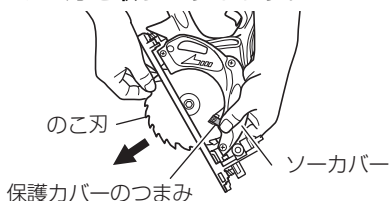
① ロックボタンを押し込む



3 六角棒スパナを反時計方向に回し、ボルトとワッシャ(B)をはずす

4 のこ刃を取りはずす

- 保護カバーのつまみを持って、保護カバーをソーカバーの中に引き込み、のこ刃を取りはずします。



● のこ刃の取付け

1

切込み調整用ちょうボルトをゆるめ、切込み深さを最大にする (P21の①参照)

注 のこ刃の取付け前にスピンドルや、ワッシャ (A)、ワッシャ (B) に付いている切りくずをよくふき取ってください。

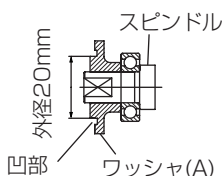
⚠ 警告

ボルトの着脱は付属の六角棒スパナ (大) で作業してください。付属以外の工具を使用すると、締過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

2

ワッシャ (A) の凹部をのこ刃側にして取付ける

●ワッシャ (A) は、穴径 20 mm ののこ刃だけが取付けできるようにになっています。



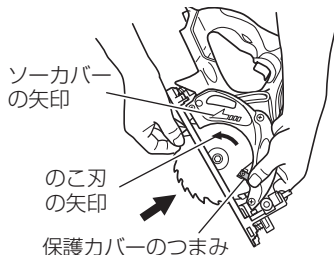
注

- ワッシャ (A) の取付け方向を誤ると、のこ刃を取付けることができません。
- ワッシャ (A)、ワッシャ (B) は必ず本体に取付けてあるものを使用してください。
- のこ刃を締付けた後、ロックボタンが元の位置に戻っていることを確認してください。

3

のこ刃を取付ける

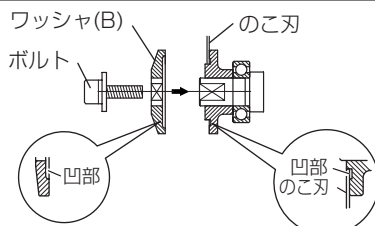
●保護カバーのつまみを持って、保護カバーをソーカバーの中に引き込み、のこ刃の矢印がソーカバーの矢印方向と一致するようにのこ刃を取付けます。



4

のこ刃を固定する

●ワッシャ (B) の凹部をのこ刃側にして取付け、ロックボタンを押し込みのこ刃軸を固定して、六角棒スパナ (大) でボルトを時計方向に十分に締付けます。(P13の①参照)



5

切込み深さを調整し、切込調整用ちょうボルトを締付ける

ロックボタンが元に戻っており、のこ刃が円滑に回転することを確認します。(P21の①参照)

保守・点検

警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● のこ刃の点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。また、蓄電池の消費が増え、使用時間が短くなりますので早めに目立てするか、新品と交換してください。

警告

切れ味の悪くなったのこ刃はそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

● 取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

● 本体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

● 保護カバーの動作点検と保守

保護カバーは、いつも円滑に動作するようにしてください。
なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

●モーター部の取扱について

モーター部（P9 各部の名称参照）の巻線は本体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

- 注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●ソーカバー内の掃除

切粉等がたまらないように定期的に点検・掃除してください。

●作業後の保管

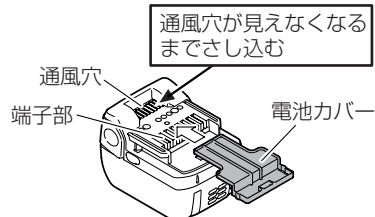
作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。また、長期間（6 か月以上）ご使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために、満充電にして保管することをおすすめします。

- 注**
- ・お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - ・軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - ・直射日光の当たる場所には保管しない。
 - ・引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- ・収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- ・短絡するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。

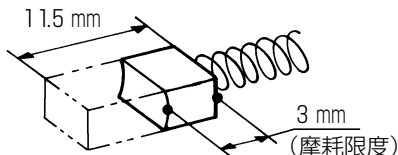


●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（3 mmぐらい）になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。

- 注** 新品のカーボンブラシと交換の際は、日立カーボンブラシ（コードNo. 999054）を使用してください。

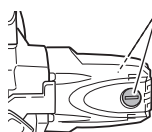


●カーボンブラシの交換方法

1

ブラシキャップをはずす

- マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。

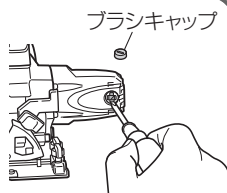
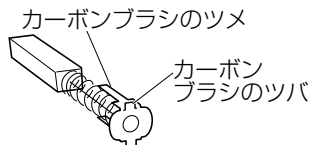


ブラシキャップ(2個)

2

カーボンブラシを取り出す

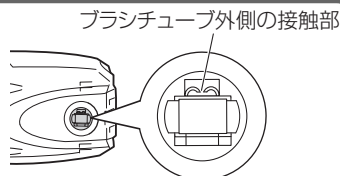
- カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っかけて、取り出します。



3

新しいカーボンブラシを取付ける

- 図のようにカーボンブラシのツメをブラシチューブ外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込みます。



- 注** カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください（ツメは2カ所あるうちのどちらでも良い）。間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。

4

ブラシキャップを取付ける

- ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

メ 毛

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。



お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

- 北海道支店 TEL (011) 271-4751 (代) 〒060-0003 札幌市中央区北三条西4丁目1番地1(日本生命札幌ビル)
- 東北支店 TEL (022) 288-8676 (代) 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
- 関東支店 TEL (03) 5812-6331 (代) 〒110-0016 台東区台東4丁目11番4号(三井住友銀行御徒町ビル)
- 中部支店 TEL (052) 262-3811 (代) 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号(コスモ栄ビル)
- 北陸支店 TEL (076) 263-4311 (代) 〒920-0058 金沢市示野中町1丁目163番
- 関西支店 TEL (06) 4796-8451 (代) 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目6番20号(スノークリスタル)
- 中国支店 TEL (082) 228-0537 (代) 〒730-0011 広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)
- 四国支店 TEL (087) 863-6761 (代) 〒760-0078 高松市今里町1丁目28番14号
- 九州支店 TEL (092) 621-5772 (代) 〒813-0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」 ☎ 0120-208822 (フリーダイヤル・無料)
※携帯電話からはご利用になれません。 (土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)
電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

国内営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

901

部品コード C99163003 G